


開学20周年迎え記念事業 (3面)

2学部2学科を目指す・学生会館を新設

平山学長新春あいさつ (2面)

「地域から支持される高いレベルの大学に」

光云大学(韓国)と学術交流協定、留学生交換へ (4面)
学内合同企業説明会は2月5、6日に 200社参加予定 (6面)

編集部では読者から表紙を飾る写真を募集しています! 投稿方法は nusichannel@nus.ac.jp までお問い合わせください。次回のテーマは「春」。

PHOTO:長屋 隆

CONTENTS

(2・3面)

平山学長 新春あいさつ
開学20周年記念事業
11月2日に記念式典

学生支援ポータルサイト運用
新潟国際ビジネスメッセに出展
湧源・編集後記に代えて

(4・5面)

慶熙大学留学中の学生を激励
中央キャンパスでAFS全国大会

サークル紹介(硬式テニス部)
紅翔祭の来場者が前年の3倍に
平成25年度一般入試概要とポイント
(6・7面)
企業懇談会250社参加し情報交換
卒業生の便り

連携講座「戦後思想と日本マンガ」
教員の活動
(8面)
能楽継承で「佐渡夢プロジェクト」
中原邸秋の一般公開で
吹奏楽部・茶道部が活動

開学20年の新年を迎え…新たなスタートを



学長 平山 征夫

学生諸君、教職員、父母の皆さま明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひします。

昨年の新年は東日本大震災後の新年ということで、「おめでとう」と言うことは控えなくてはならない年明けでした。あれから1年、期待したほどに復興が進んでいないことを考慮しますと、残念ながら事態はあまり変わってないといわざるを得ません。今年こそ復興が本格化し少しでも良い年になるよう強く願う新年です。

そうした折、本学は今年創立20周年を迎えます。20年前本県の大学進学率改善の期待も担つて、「地元の大学」として多くの方々のご支援のもと本学はスタートしました。開学に至るまではもちろん、開学後のご苦労いかばかりだったかと、初代小澤辰男理事長はじめ当時の関係者にあらためて敬意と感謝を申し上げる次第です。

地域から支持される高いレベルの大学に

素晴らしい仲間と刺激的な時間

として20年、期待通り多くの卒業生が地元を中心に活躍をしています。新潟になくてはならない大学と評価されていることを喜んでいます。でも人間でいえば二十歳の成人式を迎えたばかりです。もちろん永遠に続いている大学を人間の年齢に例えるのは適当ではないかも知れませんが、逆にいえば長い大学の歴史の中で、たかだかまだ20年の歴史を刻んだだけということです。まだまだ不十分な面もたくさんあると自覚しています。

地域においてまだ伝統の重みを感じるところまでには至っていないですし、OBと大学が一体となつた地域貢献もまだ改善の余地があるでしょう。新潟中央キャンパスなどを使つた市民との交流も成り立つたところとなるよう余地はあるでしょう。入学者、卒業生の活躍も全県に広がっています。まことに、開学に至るまではもちろん、開学後のご苦労いかばかりだったかと、初代小澤辰男理事長はじめ当時の関係者にあらためて敬意と感謝を申し上げる次第です。

魅力ある「学びの殿堂」となろう

20周年を機に学部・学科の見直しや、記念事業が検討・予定されています。記念事業の目玉は「学生会館」の建設です。学生たちがいつも集まり、クラブ活動はじめ授業以外の活動や、仲間同士での演奏の練習・発表、ゼミの公開討論、親しい友人同士の会話など、幅広く自由に利用されることを願っています。建設するものです。授業の合間、放課後だけでなく、大学に行つて学生会館に行けば、誰か仲間がいて刺激的な時間と空間が得られるという大学生活の中心的な場にしてほしいのです。

今年の新年は、大学が次の20年に向かって新たなスタートを切る年明けでもあります。これから20年はこれまで以上に厳しく難しいものになるでしょう。座していれば大学が消滅してゆく時代です。より魅力がなければ、地域からも支持されません。学生もたらす魅力を身につけるかが具体的かつ高いレベルで求められます。それが可能な大学を目指して皆で新しい年になるよう強く願う新年です。

その折、本学は今年創立20周年を迎えます。20年前本県の大学進学率改善の期待も担つて、「地元の大学」として多くの方々のご支援のもと本学はスタートしました。開学に至るまではもちろ

です。

20周年を機に学部・学科の見直しや、記念事業が検討・予定されています。記念事業の目玉は「学生会館」の建設です。学生たちがいつも集まり、クラブ活動はじめ授業以外の活動や、仲間同士での演奏の練習・発表、ゼミの公開討論、親しい友人同士の会話など、幅広く自由に利用されることを願っています。建設するものです。授業の合間、放課後だけでなく、大学に行つて学生会館に行けば、誰か仲間がいて刺激的な時間と空間が得られるという大学生活の中心的な場にしてほしいのです。

どこの大學生でも、卒業論文の執筆がある。この卒論を社会で役に立たないと思っている学生や社会人がいるかもしれません。しかし、卒論は社会に出て大きなプロジェクトを任せられ、完遂することに似ている。

まず、テーマ探しである。未知を明らかにすること、常識を疑うことといったテーマ探しは、組織を革新的な方向に導く可能性を秘める。そして、テーマに沿って情報・データ収集、特に現場でのフィールド・リサーチは、実行力と交渉力が必要である。そのため、誠意・情熱・コミュニケーションが必要となる。こうして収集された情報・データの集約・検討は、洞察力・分析力を養うことになる。

さらに、分析された情報・データを自分の頭で考える考察は、論理的思考力を自然と高める作用がある。

こうして、書き上げられた文章を期限までに「作法」通りの形式で提出することは、組織でいえば、さしつけ「プロジェクト報告書」の提出といった感じであろう。筆者は、今年10人の卒論を見た。当初は形式がなつてない(不作法)、自分オリジナルの主張がない(どこからか借りてきた話の焼き直し)、教員の添削した箇所を直さない(怠慢)、論理の矛盾・飛躍・自己中心的(論理的思考力不足)とさまざまなバッターンであった。卒論執筆には、人間性が出てしまうのである。筆は、人間性が出てしまうのである。したがって、卒論を通して、その人間性を育成していくのが大学の大学教育たるゆえんかもしれない。

完成した卒論は、出来不出来が多少あると思うが、学生が誠心誠意込めて書き上げたものである。この卒論執筆こそが、社会に出て活躍する前哨戦であろう。

湧源
入試広報委員 内田 亨
編集後記に代えて

さらなる進化へ

开学20周年 記念事業

本学では昨年10月から、ポータルサイトを開始しました。これはお知らせ等を含む報を個人ごとに表示し、学生生活を支援するためのウェブサイトです。

ポータルサイトでは、休講・補講やレなどの講義に関連する人宛てに送信された呼び出しを見るこ

学生支援ポータル
ケジユールの管理を行うことができます。ポータルサイトは、アクセスできる環境があれば学外からでも利用でき、講義関連や個人宛てで、指定したメールアドレスに自分に関係する連絡の状況を送信することができます。

また、今まで自分の成績は成績通知書で確認していましが、ポータルサイトからいつでも確認できるようになります。

間中であれば何回でも履修の変更ができるようになります。所定の期間・時間内であれば、所学外からも履修登録手続きができるようになります。

学生支援ポータルサイトを運用

講義関連や個人宛て連絡／履修登録や成績確認も

今年11月2日に記念式典

海外の提携校も招き学術シンポ

果からより良いキーボードを提案する研究、銀行ATMのユーザインターフェース分析に関する研究が展示されました。また中田研究室からは、電子ブックリーダのインターフェースに関する研究、顔の位置を用いた集中度の計測に関する研究、機械学習を用いた人のポーズの認識に関する研究の展示をしました。

来場の企業担当者から興味を示していただき、今後につながる貴重なご意見をいただきました。
(情報システム学科・講師 中田 豊久)

2学部2学科を指す

2学部2学科目指す

人材育成をより強化へ

そのほか語
学自習室の整
備や食堂の改
修等の計画を

1994年（平成6年4月）に開学した本学も、今年20年目を迎えようとしています。「国際化」「情報化」に対応できる人材、地域に貢献できる人材の育成を目標に教育・研究に取り組んできました。今日まで定員割れすることもなく、志願者を確保し続けてこられたのは、地域に必要な高等教育

職員も参加しており、少しずつですが大学の歴史を重ねつつあります。

ます。そして、ますます進むグローバル化社会、より深化する情報化時代に向け、教育の質を高め、社会が求める人材の育成をより強化するための改革を検討しています。

市民の皆さまを対象とした記念講演も計画されております。

情報システム学科の上西園、中田両研究室

多くの企業担当者が興味を示す

新潟市産業振興センターで10月25、26日に開催された「新潟国際ビジネスメッセ2012」に、本学から情報システム学科の上西園武良研究室と中田豊久研究室の研究成果の展示が行われました。

「新潟国際ビジネスメッセ」は、ビジネスの拡大につながる最新の技術やサービスがさまざまな企業や大学から展示されるBtoBに特化した県下最大級の産業見本市です。

上西園研究室からは、キーボードのタイプミスを分析し、その結



光云大学(韓国)と学術交流協定



平山征夫学長と申銀珠
国際交流委員長が10月8
日、韓国ソウル特別市に
ある光云(ケアンウン)
大学を訪問し、「学術交
流に関する協定書」およ
び「交換学生に関する覚
書」の調印を行つてきま
した。調印式は光云大学
の総長室で行われ、金基

永総長と平山学長はこれ
を機により活発な学術交
流を研究や教育の場で実
現していくことを期待しま
した。両大学は今後、教育・
学術研究面での交流の促
進および学生、学術研究
者への情報提供の実施に

光云大学
kwangwoon University

1963年に設置され
たソウル特別市に本部を
置く私立大学。79年に大
学院が設置された。学生
は、学部生約7,200人、
大学院生は約1,000人。
学部は電子情報、工科、自
然科学、経営、東社情
北亞など7学部。経営、
東社情

平山学長と申国際交流
委員長は翌10月9日に
は、学術交流協定締結校
のソウル特別市にある慶
熙(キヨンヒ)大学を訪
問しました。同大学では、
金正晚副院長と面談し、
派遣留学生の状況などにつ
いて率直に意見交換を行
いました。引き続きキャンパス
ツアード学内を視察し、
同大学に留学中の本学学
生を激励しました。

な意見交換を行いました。
つき、本学の韓国語、韓
国関連授業やゼミナール
等に参加し、学生たちと
ともに学び、韓国語授業
では、アシスタントを務
めたり、新しい教授法を
使った模擬授業を行つた
りしました。

関谷亜矢子アナウンサー
(AFS第29期生)を司会
に、篠田昭新潟市長、A
F日本協会の秋葉忠利理事
(元広島市長)、本学から
は私(佐々木)がパネリスト
を務め、「グローバル人材」
をテーマとしたクロストー
クが行われました。

「都市を活性づけるため
には、多様性と、多様性を
受け入れる寛容性が重要」
「グローバリゼーションと
ローカリゼーションは同時
進行なので、可能性はむし
ろ地方にある」「新潟の10代
が海外に出て新しい価値観
を身に付け、また新潟に帰つ
てきて多様性を実現してほ
しい」など、新潟の国際交流
の可能性について、多角的な
議論が交わされました。

佐々木 寛
(情報文化学科・教授)



新年度から留学生を交換

より、相互
大の教育研
究の向上に努
めます。

本学ではこの協定と覚
書により、来年度から光
云大学からの留学生を受光
け入れます。また、本学から
も光云大学東北アジア大
学(学部)に交換留
学生を派遣することにし
ています。



慶熙大の大学院から インターナシップ

世界的な留学ボランティ
ア団体AFSの全国大会
(にいがた青少年国際交流
会議)が11月24日、本学の
新潟中央キャンパスで開催
され、現在新潟の高校に通
う留学生と学校関係者やホ
ストファミリー、さらには一
般市民や大学生など約20
0人が参加しました。この
イベントでは、グローバル
人材輩出No.1県を目指
そう!をテーマに、5年間
で100人のAFS留学生
を新潟県から輩出する「N

IIGATA 100プロジェクト」を達成するために、さまざまなプログラムで10代での留学の魅力を発信しました。

AFSは世界大戦中に傷
病兵の救護輸送に携わった
アメリカのボランティア組
織、「アメリカ野戦奉仕団(American Field Service)」

最も歴史のある留学ボラン
ティア団体となりました。
本学との共催となつた今
回の大会では、まず前半の
プログラムで、現在新潟に

の活動が起源です。それは
やがて平和のための異文化
交流活動へと発展し、現在
では世界50カ国以上にネット
ワークを持つ、世界でも
とのつながりを再確認する

「新潟ワールドクイズ」も、
とても好評でした。

また後半のプログラムで
は、AFS留学経験者で高
校時代に新潟からドイツに
留学した大学生や、アメリ
カ留学から帰国したばかり
の現役高校生などがパネル
ディスカッションを行い、10
代で留学を体験する魅力

滞在中の韓国、イタリア、ボ
リビア、タイ、ノルウェー、
ニュージーランドの留学生
が紹介され、日本の生活で
驚いたことなどを1人ずつ
語られました。

さらに、今城貴大

中央キャンパスでAFS全国大会

新潟と世界をつなぐ若者たちが集う

さん、今城貴大
さんの3人によ
る、参加者全体

を巻き込んだ簡単なワーレ
ショップが行われました。会
場の雰囲気を和ませたアイ
スブレークリング「後出しじ
ゃんけん」も、新潟と世界

とのつながりを再確認する
「新潟ワールドクイズ」も、
とても好評でした。

また後半のプログラムで

は、

大会に向けハードな練習をしながらも楽しく活動する硬式テニス部について前主将の諫訪貴則さん（システム学科3年）に聞きました。



サークル紹介 Q&A

普段の大会で参加してきました。普段の大会で参加してきました。

仲良く自由に楽しく交流

Q. 最近はどんな大会に参加していますか。

最近は、新潟市で行われる大会に参加申し込みをしていました。最近では、胎内市市長杯テニスシングルス大会に参加してきました。

Q. 硬式テニス部を一言で表すと何ですか。

普段の大会で参加してきました。他の部活の部室も近くにあり、いろいろな交流の機会があります。関係が築けます。

Q. 活動状況を教えてください。

1月・水・金曜日に、時間指定は特になく、授業が終わり次第それまで部活を始めています。部員は男性6人、女性4人で、全体としての練習は、初心者には先輩が基本から丁寧に教えるなど、皆で一緒に仲良く練習しています。

Q. 入部のきっかけは何ですか。

中学・高校とテニスをやっていたので、入学してからすぐテニスコートに見学に行きました。そしたら楽しそうな雰囲気だったので、学生生活で何もないのはつまらないと思いました。

Q. あなたにとって硬式テニス部とは。

友達がたくさんできる、楽しいところです。



紅翔祭を終えて



紅翔祭実行委員長 大沼竜二（情報文化学科2年）

○平成25年度 一般入試概要とポイント

※出願期間内消印有効。

※詳細は「平成25年度学生募集要項」または本学ウェブサイト(<http://www.nuis.ac.jp/>)をご確認ください。

一般入試概要

入試区分	募集人員	出願期間	試験日／試験場	試験実施教科・科目	合格者発表日	入学手続期間
前期	情報文化学科 35 情報システム学科 65	100 平成25年1月7日(月) ～1月25日(金)	平成25年2月2日(土) 新潟上越長岡	【国語】 国語総合(現代文)・現代文 【数学】 数学I・数学II (数学IIは微分・積分を除く) 【外国語】 英語I・英語II 上記4教科の中から2教科以上を選択、3教科受験した場合は高得点の2教科を合否判定に使用	平成25年2月8日(金) ～ 2月19日(火)	平成25年2月8日(金) ～ 2月19日(火)
後期	情報文化学科 10 情報システム学科 10	20 平成25年2月14日(木) ～3月1日(金)	平成25年3月9日(土) 新潟	各学科の利用教科・科目の中から2教科以上を選択 3科目以上受験した場合は高得点の2科目を合否判定に使用	平成25年3月12日(火) ～ 3月21日(木)	平成25年3月12日(火) ～ 3月21日(木)
大学入試センター試験利用	情報文化学科 10 情報システム学科 10	20 平成25年1月28日(月) ～2月13日(水)	平成25年1月19日(土)、20日(日) 大学入試センター試験を受験していること	各学科の利用教科・科目の中から2教科以上を選択 3科目以上受験した場合は高得点の2科目を合否判定に使用	平成25年2月22日(金) ～ 3月5日(火)	平成25年2月22日(金) ～ 3月5日(火)

入試のポイント

一般入試(前期・後期)で第2志願制を導入!!

この第2志願制を利用すると、第1志望の学科が合格にならなかった場合には第2志望の学科で合否判定を行います。

一般入試(前期)で学費給付奨学生を採用!!

一般入試(前期)の試験結果から、成績上位者に、年間授業料の半額を給付します。奨学生試験を受ける必要も、事前に申請する必要もありません。

給付額	給付対象
年間授業料の半額	情報文化学科 3番以内
	情報システム学科 5番以内



新しいものに挑戦して企画
来場者は前年の3倍にも

19回紅翔祭(大学祭)。皆さまのおかげで盛大なお祭りとなりました。ありがとうございました。

今回は「新しいものに挑戦してみよう!」をコンセプトにさまざまな新企画を実施してみました。まずはなんといつても「西区大農業まつり」とのコラボ。メイワサンピアで行っていたのを、本学のみずき野キャンパスにて同日開催いたしました。土曜日だけの開催でしたが、前年より1千人超の4千人の方々に来ていただきました。

毎度おなじみのお笑いライブには東京03さん、文化講演会には元NHKアナの堀尾正明さんをお招きし、多くのお客様に楽しむ時間を過ごしてもらえたと思います。

初日は好天に恵まれ、2日目は強風でテントがつぶれ旧作業中には土砂降りに遇うなどと大変でした。それでもお客様が来るころには雨も風もやみ、総来場者数は前年の3倍という大成功を収めました。

200社参加 本学学生に期待

いよいよ12月1日から3年生を対象にした就職活動がスタートしました。「学内合同企業説明会」が2月5・6日の2日間、本校みづき野キャンパスにおいて開催されました。厳選採用と学生にとっては、厳しい状況は続いていますが、毎年、県内外より200社以上の企業、団体からご参加いただき、本学学生に対して期待度の高いことを

学内合同企業説明会

2月5日・6日に

に参加くださっております。
変重要になっています。

に参加くださっています。また、企業の求めるスキルとして、「コミュニケーション能力」、「積極性」、「チャレンジ精神」と活発な人物像を望んでいます。「会話力」特に会話のキヤッヂボールが苦手なタイプの学生も年々増加しており、企業の方々と関わりを持つことが大変重要になっています。就職活動を通して、自身を成長させ、明確な方向性に向かって行動できる絶好のチャンスです。就職は「何とかなる」は絶対に通用しません。アルバイトとは違います。真剣に将来を考え、積極的に参加し、就活力、人間力をつけることを期待しています。

望まれる活潑な人物像、会話力もポイント

3) 委員・講演・その他

伊村 知子(情報システム学科・講師)

- ・(2011年4月～) 日本赤ちゃん学会 編集委員
- ・(2011年7月～) 日本霊長類学会 庶務幹事

内田 亨(情報システム学科・教授)

- ・(2012年11月10日) 起業家協議会賞受賞（情報システム学科4年山倉有馬）NPO法人さいたま起業家協議会主催「第8回懸賞付学生論文発表会」指導教授として感謝状授与される(さいたま市)
- ・(2012年2月～) 地域デザイン学会理事
- ・(2012年10月～2014年9月) 新潟県農業共済組合連合会コンプライアンス委員会委員
- ・(2012年6月24日) 「第4回神奈川ダウン症ネットワーク(KDSN)交流会」(横浜市)

越智 敏夫(情報文化学科・教授)

- ・(2012年9月29日) 「特別編集委員の目」『新潟日報』朝刊
- ・(2012年9月15日) 「日本と新潟のエネルギーについて」日本青年会議所新潟ブロック協議会主催公開討論会(妙高市)
- ・(2012年10月26日) 「地域にとって自治とはなにか」新潟市西区自治協議会講演会(新潟市)

・(2012年10月20日)「地域にどう
神長 英輔(情報文化学科・准教授)

- ・(2012年11月6日)「特集 日口現場史 第3部 霧の北洋・番外編7」『北海道新聞』夕刊に取材協力(インタビュー)

取材協力（インクルエ）
佐々木 寛（精神文化学科・教授）
・（2012年9月24日）「佐々木社会人ゼミナール（読書会）第100回達成」
・（2012年10月24日）「平和学」の視点から 環日本海懇談会幹事会
・（2012年11月5日・26日）「映画でりかええる日本の＜戦後＞」本
一・オープencarレッジ 第1回・第2回（本学新潟中央キャンパス）

企業の方々と本学教職員が情報交換する「企業懇談会」が、11月21日、ANAクラウンプラザホテル新潟で開催され、約250の企業・団体から350人の多くの皆さまにご参集いただきました。恒例の講演会には世界初の体脂肪計などの開発に成功し、「タニタ社員食堂」で話題の谷田大輔氏をお迎えしました。

まず平山征夫学長があいさつで、本学の就職状況はおおむね好調に推移しているが、それでもなお厳しい状況下で開始される就職活動への理解と協力をお願いしました。12月から3年生の就職活動が

企業懇談会

250社350人が参加

開始されるが、政局混迷が就職戦線にマイナスの影響を与えるのではないか心配。大学で学び育成されたそれぞれの才能が活かされる社会を願つていい。企業も厳しい現状のなか、能力の高い人を採用することは当然で、そこに挑戦する学生たちも能力を磨いてきたその結果を出し、問題意識を持つて行動しそれぞれの力を身に付けた社会人になることが大事。大学も「質」の高い学生を送り出す努力をしている、などと述べました。そのうえで参加された企業の方々に、就職活動中の4年生および3年生の採用にご

情報交換会で卒業生の活躍に高評価



栄養を蓄える遺伝子を持ち少し食べる。と次に食事をとるまでに脂肪をつけようとする体質になつて、いる。健康に気をつけるうえで自身の責任が半分、遺伝子体质が半分と、新しい悩みの時代に入つてきましたとユーモアを交え話されました。

また「体重と寿命」に関しては、食事と運動が生活習慣の両輪であり、目標を持ち楽しむことが寿命を延ばす秘訣とも話されました。タニタを赤字企業から脱却させるため、将来性のない事業から撤退し、「はかり」事業一本化し、社員を元気にするため「世界一」を目標に合理化

講演会「タニタ」の経営戦略を学ぶ

や販路開拓を進めた
「タニタ経営マインド」を伝授いただき
ました。引き続き開かれた懇親会では、関根秀樹理事長が、日ごろの就職活動における協力に対して感謝を述べ、また上西園武良就職指導委員長（情報システム学科教授）が、企業との良好な関係にあらためて感謝しさらなる発展に期待を表明しました。来賓代表として新潟市異業種交流研究会協同組合の南雲俊介副理事長から乾杯ご発声をいただき開宴。本学卒業生の近況・仕事ぶりや経済動向など幅広い情報交換をしつつ懇親を深めました。

- ・(2012年11月10日) 「緑の党(Green Japan)は何を目指すか」緑の党結成報告会司会(新潟市)
 - ・(2012年11月14日) 「大学に行こう!——人生を真剣に考える人へ」(新潟県立新潟向陽高等学校)
 - ・(2012年11月24日) 「「グローバル人材」について考える」AFS DAY 新潟～にいがた青少年国際交流会議パネリスト(本学新潟中央キャンパス)
 - ・(2012年12月7日) 「領土問題を克服する道——私たちにできること」護憲フォーラムにいがた(新潟市)
 - ・(2012年9月1日～4日) 本学学生による福島・宮城支援ボランティア団体「N U I S プロジェクト」第2回派遣
 - ・(2012年9月23日) 佐々木社会人ゼミナール第100回記念研究会(新潟市)

小林 満里(情報システム学科・教壇)

小林 洋介（情報システム学科・教授）

- ・(2012年4月～) 財團法人自治体衛星通信機構理事（非常勤）
- ・(2012年11月17日) 経営情報学会2012年秋季全国研究発表大会座長（金沢星稟大学）
- ・(2012年9月5日) 「技術士になるということー物語を紡いで夢を実現しようー」

NTTコミュニケーションズ(株)月曜会主

小宮山 智志(情報システム学科・准教授)
(2012年4月-) 主題上巻校刊語彙

- ・(2012年4月～) 赤塚小学校学校評議員

藤田 晴啓(情報システム学科教授)

- ・(2012年11月2日) 「朝日新聞」本紙新潟版「能復活 学生が助っ人 全員未経験笛や仕舞特訓」
- ・(2012年10月14日) 第2回地図情報システム学会D7可視化セッションチア(広島修道大学)
- ・(2012年11月8日) 「低炭素社会のためのデータ駆動型社会システムの開発」研究推進会議議長

「能楽継承と能舞台の活用で地域活性化」

「佐渡夢プロジェクト」で優秀賞

本学と新大
共同提案

佐渡市が地域経済活性化のため、大学（教員および学生）からの提案による、夢のある事業「大学発佐渡夢プロジェクト」を全国から公募していました。平成24年8月の最終審査で6大学提案が残り、さらに本学と新潟大学の共同提案「羽茂小泊集落の能楽継承と能舞台活用による地域活性化事業」が優秀賞に選ばれました。この提案をベースに平成24年度から3年間、小泊集落の「佐渡市地域活性化チャレンジ事業」および本学の「地域貢献事業」をマッチングさせた事業計画が進められています。

この提案の概要は、羽茂小泊活性化友の会と大学が連携し、能楽の活性化と能舞台の有効活用を実施し、能合宿を計画している全国の大学とも連携して、観光・交流人口増加と地域活性化を図るもので、佐渡島内には多くの老朽化した能舞台

があり、市では地域の能文化を守るために修復を進めています。この能舞台を広く利用してもらおうとPRに努め、既に首都圏の大学サークルなどが、能舞台の視察や薪能の見学などに訪れていました。

本学および新潟大学の学生と教職員は、サークル活動の一環として年間に5回羽茂小泊にて合宿を行い、能ボランティアとして地元の能楽愛好会との合同練習を行うなどします。

さらに両大学キャンパスにて、現行の笛、仕舞、謡の練習を続けるとともに、平成25年度からは能楽師による囃子（笛、小鼓、太鼓、太鼓）の稽古を本学新潟中央キャンパスにて行う予定です。

交流人口増加による佐渡活性化に貢献しつつ、佐渡の能舞台にて発表することを最終目標としています。また新潟市民向けのオープンカレッジ事業、佐渡出身シテ方能楽師による「佐渡夢プロジェクト謡・仕舞特別講座」も計画しています。



新潟でもワークショップ 謡・仕舞特別講座も

情報システム学科
教授 藤田 晴啓
(笛一噸流)

佐渡活性化に貢献しつつ、佐渡の能舞台にて発表することを最終目標としています。また新潟市民向けのオープンカレッジ事業、佐渡出身シテ方能楽師による「佐渡夢プロジェクト謡・仕舞特別講座」も計画しています。

一般公開での演奏は3回目で、今回は久しぶりに部員だけでの演奏となりました。8人という小編成での演奏は、楽譜の改変などで、どうしても不自然な箇所が発生します。日常の練習をしっかりと行き聞き応えのある音楽を持つれるよう試行錯誤し、本番を迎えるました。

当日は午前と午後の2回演奏。木々に囲まれた広い空間での演奏は、ホールなどとは違った感じられました。

佐渡島内には多くの老朽化した能舞台

あります。市では地域の能文化を守るために修復を進めています。この能舞台を広く利用してもらおうとPRに努め、既に首都圏の大学サークルなどが、能舞台の視察や薪能の見学などに訪れていました。

「中原邸」で憩いの時を提供

本学近隣の史跡、赤塚の「中原邸」秋の一般公開（10月8日）に、茶道部と吹奏楽部が今年度も参加しました。豪農の館「中原邸」は現存する貴重な明治天皇北陸巡幸在所で、訪れた多くの観光客に憩いのひと時を楽しんでいただきました。



吹奏楽部 木々に囲まれ演奏

聴く側と一体感

休む間もなく

お茶を点て続け

表千家茶道部

邸内の会場の関係で、直接お客様の前でお点前をすることはできませんでしたが、精いっぱいおいしいお茶とお菓子を楽しんでいただきました。

当日は天候に恵まれて、これほど見学者が多い日はこれまでなかつたと思います。

邸内では竹林から作つた竹炭や佐湯など地元の特産なども販売され、とてもぎやかな雰囲気でした。10時から16時までの公開の間、見学者が途切れることはほとんどなく、私たちも

休むことなくお茶を点て続けていました。最終的には100人近くのお客さまにお越しいただきました。大変でしたがとても充実した一日でした。

中林貢一
(情報文化学科3年)

吹奏楽部前学生代表

川崎祐一郎
(情報システム学科3年)

表千家茶道部学生代表